

会長の部屋

城ノ内コミュニティ協議会

会長 仲村 力

「公助共助の絆あり
老若男女の笑顔
はじける！」



私たち城ノ内コミュニティ協議会は、ニュータウン地域（城ノ内・白羽）と旧市内（八代地区）の中、とても自然環境に恵まれた地域にあり、様々な活動しております。防犯・防災、福祉、しろのさと、子どもと4つの委員会があり、テーマは全体会、事業内容は各委員会でそれぞれ検討し、再度全体会での審議を経て実践しております。八原地区から独立して10年、まだ歴史の浅い地域ではございますが、新旧住民の交流は一段と深まり、活動への参加者も年々増してみんな楽しみにしております。今後もふるさと龍ヶ崎戦略プランに沿って、みんなで力を合わせ地域に合った活動を進めていきたいと思えます。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

～住みたいな・・・住めば都の城ノ内！～

大宮ふるさと協議会

会長 平野 好郎

「安心・安全な
まちに！」



大宮ふるさと協議会は、今年で設立から2年目を迎えました。大宮地区の地域柄を申しますと、3世代同居の家庭も多く、隣近所と顔が見える関係は今も健在です。当協議会の目標は、「お互いに支え合い、助け合って、安心・安全なまちにすること」です。例を挙げますと、世代間交流を象徴する大宮地区の一大イベントに、大宮地区大運動会があります。地区と小学校が合同で開催してから今年度で12年目になりますが、子どもからお年寄りまで競技に取り組めるよう心がけております。運営についても、準備や片付けなどは、地域が一体となって行っており、私は頭が下がる思いでございます。この場をお借りして感謝申し上げます。結びに、大宮ふるさと協議会が、益々地域の皆様に支えられている組織となりますことを祈願しまして、挨拶とさせていただきます。

市民協働課からお知らせ

～昨年10月に市民交流プラザがオープンしました～

市民団体の皆さんや、区・自治会・町内会の皆さんが活動する場の提供、またより多くの市民の皆さんが集い交流を深める場として施設の貸し出しを行っています。ぜひ、ご利用ください。

また、子育て世代の利用を促進するため、親子が一緒に楽しめるイベントなどを実施しておりますので、ご参加ください。

- 住所電話：龍ヶ崎市藤ヶ丘4-7-11 TEL0297-64-0036
- 開館時間：午前9時から午後5時（コミュニティ棟のみ午後10時まで利用可）
- 休館日：毎週水曜日・年末年始（12/29から1/3）
- 施設内容：サロンスペース・ラウンジスペース（キッチン付）・教室1・教室2
- 利用できる方：市内に在住、または在勤・在学の方。
（施設の貸し出しは、5人以上の団体が利用する場合に限ります）
- 利用方法：使用する日の前日までに、所定の申請書を市民交流プラザに提出してください。
- 申請受付：1ヶ月前から可。
住民自治組織、多数の市民を対象としたイベントを実施する場合は2ヶ月前から可。
- 利用の制限：宗教・営利・政治を目的とする活動は利用できません。



地域コミュニティ NEWS

回覧

第9号 平成29年2月15日発行
【編集・発行】
龍ヶ崎市役所 市民生活部 市民協働課
コミュニティ推進グループ
☎0297-64-1111 内線438・439

「久保台小学校区わくわく協議会」がスタートしました。

～5月22日、設立総会で規約、役員、事業計画、予算を決定～

昨年5月22日に設立した、久保台小学校区わくわく協議会（小野寺 正好会長）では、この地域がわくわくすることを目指して、各委員会での活動をスタートしました。

前身の活動推進協議会から行ってきた活動は、そのまま引き続き継承し、新たな取り組みとして住民自治組織活動推進委員会や地域づくり委員会、防犯委員会、防災委員会では、初めての分野に取り組んでおります。

委員からは、「何をしたいのかわからない。」との戸惑いも最初は聞かれましたが、回数を重ね顔が分かる関係になってくると、役員会や各委員会から、地域の課題について活発な意見が出されるようになってきました。

今年度の「わくわく祭り」は、実行委員会として当協議会地域づくり委員会を中心となり、他の委員会や久保台小PTAなどと連携して企画・運営を行い、お祭りを催すことができました。当日は、協力者のピンク色のジャンパーや茶色のエプロン姿が光って見えました。



わくわく祭りより

「長戸コミュニティ協議会」がスタートしました。

～生まれ 育ち 未来へ 長戸～（キャッチフレーズ）

長戸コミュニティ協議会（木村 勉会長）は、昨年5月に設立総会を開催し、活動をスタートさせました。市内で11番目の中核的な地域コミュニティとなります。長戸地区は、田園と緑の自然豊かな地区ですが、地区内の戸数が620戸と市内で最も小規模な地区となっています。また、児童数の減少により、平成27年4月には長戸小学校が閉校となり、城ノ内小学校と統合されました。高齢化率も高い長戸地区ですが、「人間関係が希薄になりつつある今だからこそ皆が連携・協力して行く



コミュニティ運動会より



んだ」という地域愛のもと各種事業を展開しています。防災訓練・地区運動会・コミセン祭りには地域住民がたくさん参加し、活気に満ちた活動を進めています。現在、新たな事業展開に向け、いつも笑いの絶えない楽しい雰囲気の中いろいろな協議を続けています。新たな活動がスタートしたばかりの長戸地区ですが、他の地区にはない特色を活かした今後の活動に注目です。

防犯・防災レポート

長山地域コミュニティ協議会



～AED人形50体！！～

11月26日(土)、長山地域コミュニティ協議会と長山小学校、長山地区自治会の合同防災訓練が行われました。晴天の下、グラウンドいっぱいには5つのコーナーに分かれて消火訓練、煙体験、応急手当・救護訓練、AED救護訓練、防災クイズ、また教室では防災ビデオの上映など行なわれました。今回は何と言っても一度に50人のAED救護訓練！ブルーシート4枚を敷いた上にAED人形が50体、機器も50台。全員一斉に胸骨圧迫や人工呼吸を行うさまは目を見張りました。

馴柴まちづくり協議会

～試験的防犯活動を始動！～

防犯・防災委員会では、当協議会設立当初より「車両での青色防犯パトロールを実現しよう」と会議を重ねてきました。

今年度に入り、「青色防犯パトロール車を用意しても活動する人が集まるのかどうか検証する必要があるのでは？」との意見があり、防犯・防災委員会で話し合ったところ、試験的に自家用車などを利用して、防犯パトロールをやってみようという意見がまとまりました。防犯連絡員協議会や住民自治組織による防犯活動が、7月5日よりスタートしました。防犯パトロール方法は、馴柴地区を3ブロックに分けて週2回実施し、9時～17時の間で都合の良い時間帯に行えば良いというルールに設定しました。実際に車でのパトロールを始めてみると、「ルートが狭いので変更して欲しい」「見通しの悪い場所がある」などの意見が挙がり、ますます防犯活動の必要性が高まっています。



龍ヶ崎西コミュニティ協議会

～小学生と一緒に防災訓練～

生活安全委員会が中心となり、設立当初より実施している、西小学校と合同の防災訓練は今回で4回目となります。今回は、大地震が発生したとの想定で10月12日(火)に実施し国土交通省が所有する「自然災害体験車」と「降雨体験車」を準備。「自然災害体験車」は、立体映像(3D)等により、土石流を疑似体験するもので、その恐ろしさに皆さん驚いておりました。また、「降雨体験車」では、今までに経験したことのないような大雨(最大300mm/h)や強風(最大101m/s)の暴風雨を体験しました。大雨による自然災害は、昨年度の関東・東北豪雨により決壊した鬼怒川の水害が記憶に新しいところですが、わが町でも密接な関係があることなので、みなさん熱心に係員の話に耳を傾けていました。



川原代ふれあい協議会

～青パトで週6日防犯パトロールを実施中！！～

防犯委員会は、設立当初より地域の防犯パトロールを実施して4年が経過しようとしています。協議会員のほか地域の協力者により、午後3時30分から4時30分まで日曜日を除く毎日ローテーションを組み活動を続けています。「週6日実施!？」と聞くと、「さぞ役員さんの負担が大変だろうなあ」と思われがちですが、たくさんの方の協力者により、1人あたりの負担が月に1回程度であるため、継続して活動することができます。この活動により、小中学校と協議会の信頼・連携・協力体制がより強くなるとともに、不審者情報が減るなどの効果があり、地域力がどんどん向上しています。



各地区の活動から

北文間コミュニティ協議会

～鋸山を登りました 歩け歩け大会～

10月19日(水)に、文教体育委員会主催による、歩け歩け大会を開催しました。北文間地区ではこれまでに、皇居1周やひたち海浜公園など地元を離れた場所で歩け歩け大会を実施しています。今回は、千葉県鋸南町にある鋸山を歩きました。2時間たっぷり歩き、頂上からの素晴らしい景色を眺めながら、さわやかな汗を流しました。



川原代ふれあい協議会

～サマーキャンプを開催～



川原代ふれあい協議会では、新たに子ども育成事業を始めました。今回、初めてサマーキャンプ体験事業を開催したところ、予想を上回る参加者がありました。地域の清掃をはじめ、飯盒炊飯によるカレーライス作り、テントによる宿泊体験とともに、様々なレクリエーションも加えながら、学校ではなかなか学べないような経験ができ、子ども達は大喜びでした。

八原まちづくり協議会

～ウォーキング活動を始めました～

福祉委員会では、中高年の方々を対象に、運動不足や引きこもりの解消のきっかけになるよう、テーマや達成しやすい目標を決めて、定期的にウォーキングを行っています。歩くことは認知症予防などにも効果があると言われており、普段の生活の中でも無理なく効果的に取り入れることができるため活動を始めました。歩くたびコースによって新たな発見があり、仲間と話をしながら有意義な時間を過ごすことができました。



大宮ふるさと協議会

～ほたる鑑賞会を実施～



6月4日(土)、5日(日)に、コミュニティセンター脇の休耕田「ほたるの里」でほたる鑑賞会が行われました。「昔のようなほたるでいっぱいの大宮地区を子どもたちにも見せてあげたい」との想いで始まり、今年で2年目です。子どもたちからは、「光っているところは冷たいんだね」という驚きの声があがりました。灯りのない会場のため、写真には残せませんでしたが、ほたるの光は心の中で今も光り続けています。

龍ヶ崎地域コミュニティ協議会

～龍ヶ崎小学校におけるあいさつ・声かけ運動を月に1回実施！～

福祉部会では、早朝からメンバーが集まり、月1回龍ヶ崎小学校の昇降口前において、登校してくる小学生にあいさつ・声かけ運動を実施しています。

活動をはじめた頃は、恥ずかしがって、あいさつを返してくれる小学生も少なかったのですが、活動を継続していくうちに、大きな声で元気よく「おはようございます」と返してくれる小学生が増えました。元気なあいさつをしてくれる子どもたちの可愛い姿に、参加している福祉部会のメンバーも元気をもらっています。

